



伊達政宗和歌詠草「入そめて」／  
仙台市博物館蔵



仙台城及び江戸上屋敷主要建物絵姿図(本丸大広間)／仙台市博物館蔵



仙台城・若林城に関わる障壁画(扇面図屏風)／  
仙台市博物館蔵



MIYAGI

れた国際性、といった時代の息吹を汲み取りながら、新しい“伊達”な文化を仙台の地に華開かせていったのです。  
そして、その文化は政宗だけに留まらず、時代を重ねるにつれ、後の藩主に、さらには仙台から

全国へ、武士から庶民にまで、さまざまな方面へ広がり、定着し、熟成を加えていきました。

仙台北丸大広間障壁画鳳凰図／松島町蔵



### 江戸時代以来の伝統の職人技



仙台御筆／仙台市



堤焼／仙台市



堤人形／仙台市



仙台平／仙台市



仙台張子／仙台市



仙台箆箭／仙台市

### 庶民への広がり

政宗が築き上げた文化は、仙台北下の町人や職人など幅広い階層の人々に広がっていきました。仙台藩とのつながりの深い民俗芸能が、仙台北下で上演され、藩の保護・制約のもとで演じられています。大崎八幡宮の杜人が例祭に行っていた神楽、八幡宮別当が関わっていた盆の鹿踊・剣舞、正月の城下の賑わいに華を添えた田植踊などの民俗芸能は、旧仙台北下及びその近郊の庶民などがその命脈を伝えました。また仙台北下で最も賑わった東照宮例祭の仙台祭は、伊達政宗をまつる青葉神社の例祭に行われる、仙台・青葉まつりに受け継がれています。  
また仙台藩の御用を務めた御職人たちが担っていた工芸品は、仙台北下の職人に引き継がれ、仙台平や仙台御筆、堤焼、仙台張子、仙台箆箭などへと広がっていき、今日でも伝統工芸品として生き続けています。

### 藩とのつながりが深い民俗芸能



大崎八幡宮の能神楽／仙台市



秋保の田植踊／仙台市



大沢の田植踊／仙台市



川前鹿踊・剣舞／仙台市



福岡の鹿踊・剣舞／仙台市

### 庶民への広がりを示す祭礼



仙台七夕／仙台市



大崎八幡宮の松焚祭(どんと祭)／仙台市



鹽竈神社帆手祭・花祭／塩竈市



仙台青葉まつり／仙台市

東日本大震災にあたり、国内外の皆さまからお寄せいただいたご支援に心より感謝申し上げます。

「伊達」な文化」魅力発信推進事業実行委員会 | 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1 宮城県教育庁文化財保護課  
TEL:022-211-8683 FAX:022-211-3693



日本遺産

平成28年度 日本遺産認定

# 政宗 が育んだ “伊達” な文化

宮城県

仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町

黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用) 仙台市博物館蔵

「伊達」な文化」魅力発信推進事業実行委員会

## 政宗 が育んだ “伊達” な文化



木造伊達政宗肖像／瑞巖寺蔵

仙台藩歴代藩主所用陣羽織(山形文様陣羽織)／  
仙台市博物館蔵

仙台藩歴代藩主墓所出土品(金製ブローチ)／  
仙台市博物館蔵

### 伊達政宗と 仙台藩の文化

仙台藩を築いた伊達政宗については、戦国大名として政治・軍事面での活躍は広く知られているところですが、その一方で時代を代表する文化人でもありました。上方に負けない気概で自らの“都”仙台を創りあげようと、政宗は古代

以来東北の地に根づいてきた文化の再興・再生を目指しました。伊達家で育まれた伝統的な文化を土台に、上方の桃山文化の影響を受けた豪華絢爛、政宗の個性ともいべき意表を突く斬新さ、さらには海外の文化に触発さ



仙台北城跡 仙台市



瑞巖寺五大堂／松島町

陸奥国分寺薬師堂／仙台市

瑞巖寺本堂・庫裡及び廊下・障壁画／松島町



大崎八幡宮／仙台市

## 歴代藩主による継承



観瀾亭及び障壁画／松島町



東照宮／仙台市



陽徳院霊屋／松島町



圓通院霊屋／松島町

## 時代の最先端・桃山文化の粋

## 政宗による文化の確立

伊達政宗は、政治の拠点として新たに仙台城を築くにあたり、これまでの伝統を重視する姿勢をみせました。仙台は古代陸奥国府の所在地である宮城郡に位置することもあり、この地の名所・旧跡の再興と再生に力を尽くしています。  
奈良時代の陸奥国分寺跡に薬師堂を建立し、

平安時代の坂上田村麻呂にゆかりがあり、室町時代には奥州探題大崎氏の崇敬を受けた大崎八幡宮を仙台に移転させました。また、鎌倉時代以来、陸奥国随一の名刹と称される松島円福寺を瑞巖寺と再生に力を尽くしています。その際、蔵内から当代一流の技術者と呼び寄せ、手の込んだ彫

刻や極彩色からなる装飾性豊かな建造物や、金地に色彩豊かな濃絵で描かれた豪華絢爛な障壁画といった、桃山文化の豪華華麗な手法を取り入れました。その一方で、伝統的な水墨画の世界も取り入れられ、具足や衣装などにも斬新な美意識が徹底されています。さらには南蛮文化の影響も受けており、西洋世

界への関心の高まりもみられました。政宗の文化的素養は、和歌や連歌、茶の湯、能楽、香といった伝統的な文化にも発揮され、これらは伊達家伝来の学を通して身につけられるとともに、当代一流の文化人との交流のなかで磨かれていきました。

## 政宗以後の文化の広まり

伊達政宗が築き上げた新しい文化は、その後さまざまな方面への広がりをみせ、より一層成熟されていき、その文化は現在宮城に暮らす人々の生活のなかにも深く根付いています。

## 時代を越えた広がり

政宗の文化に対する姿勢は、2代忠宗、3代綱宗、4代綱村、5代吉村と、次代の藩主たちに受け継がれ、さらに深化、発展を遂げていきました。忠宗の手による東照宮、瑞鳳殿、圓通院霊屋、綱宗による陽徳院霊屋、綱村から吉村の手による鹽竈神社などの建造物には、政宗の志向した豪華絢爛さがうかがえます。

## 藩によるみちのくの歌枕の整備と保護



松島／塩竈市・松島町



多賀城跡附寺跡／多賀城市



雄島／松島町



多賀城碑／多賀城市



富山観音堂・梵鐘／松島町

## 全国への広がり

都の文化にあこがれた政宗ですが、それとは反対に都人たちは、古来遠いみちのくをあこがれの地として数多くの歌枕を詠んでいることから、領内にある松島や木の下など宮城郡内の歌枕の地に御仮屋を建て、酒宴を楽しみました。政宗の歌枕への深い造詣は、忠宗や綱村による古典の研究や名所旧跡の調査に引き継がれ、藩を挙げて歌枕の地の再

発見と整備、保護に取り組みました。その成果は江戸にも伝わり、松尾芭蕉は歌枕の地を自らの目で確かめようと、松島をはじめ、壺碑、末の松山、興井、籬島、櫛ヶ岡、薬師堂などの歌枕の地を訪れ、その様子を「おくのほそ道」で紹介しています。そしてこれがさらに大きな影響をおよぼし、仙台藩内の歌枕はますます全国へ広まってきました。

## 世界を睨んだ先見性



慶長遣欧使節関係資料(支倉常長像)／仙台市博物館蔵



坤輿万国図／宮城県図書館蔵

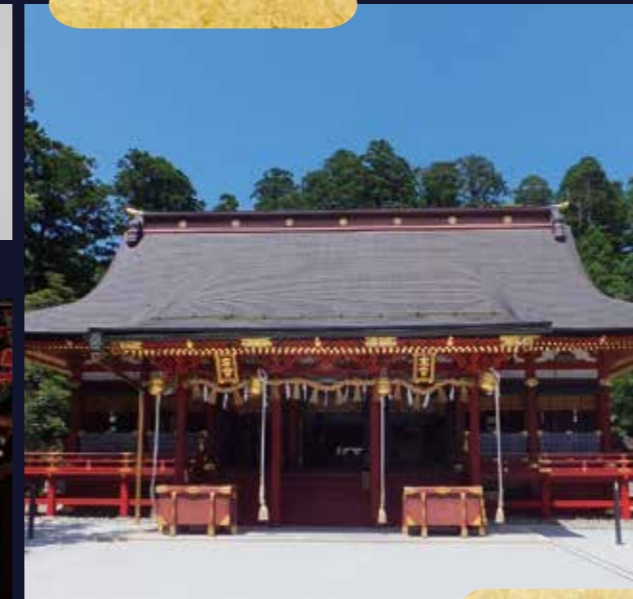
鹽竈神社歴代藩主奉納太刀／鹽竈神社博物館蔵



経ヶ峯伊達家墓所 瑞鳳殿／仙台市



協力:公益財団法人 瑞鳳殿



鹽竈神社／塩竈市



仙台藩歴代藩主所用具足／仙台市博物館蔵  
※写真はイメージです。現在この展示は行われていません。



仙台藩歴代藩主所用陣羽織(水玉文様陣羽織)／仙台市博物館蔵



茶杓(伊達政宗作)／仙台市博物館蔵

## おくのほそ道の風景地



つゝじが岡及び天神の御社／仙台市



木の下及び薬師堂／仙台市



末の松山／多賀城市



壺碑(つばの石ぶみ)／多賀城市



興井／多賀城市



籬が島／塩竈市